

7/7 (日) 神奈川県開成町
「災害時における相互応援に関する協定」を締結

町は、神奈川県開成町と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

この協定は、茨城県と開成町のいずれかの地域で地震等の大規模な災害が発生し、被災した町が単独では十分な応急対策等が実施できない場合に、応援業務を円滑に行うため、災害時の相互協力等を定めたものです。具体的な内容としては、食料や飲料水、応急復旧に必要な資機材、救助活動に必要な車両などの提供、児童の受入れなどとなっています。この協定の締結により、互いの町の災害対応をより強固なものにする^{けんげん}とともに、災害以外の様々な分野での交流を深めながら、互いに研鑽し、協定の実効性も高めていきます。

町では、今後も安全・安心なまちづくりを目指し、災害対策に取り組んでいきます。



山神裕 開成町長



開成町 (かいせいまち)

東京から70km圏内、神奈川県の西部、足柄上地域の中央部に位置する、人口約1万8千人、面積6.55km²の町です。「田舎モダン」をまちづくりのコンセプトに掲げており、年少人口割合が神奈川県内1位を誇る、若い子育て世代に選ばれる自治体です。温暖な気候と酒匂川のうるおいに恵まれ、東名高速道路のインターチェンジが近く、小田急線の駅があるなど交通の便もよい、高い利便性を兼ね備えた土地柄です。

7/19 (金) 湖沼の安全を祈願した神事
令和6年度 湖上安全祈願祭



湖沼の本格的な夏の観光シーズンを前に、茨城県観光協会（澤秀雄会長）は、漁業者をはじめ湖沼を訪れる観光客などの安全を願い「湖上安全祈願祭」を執り行いました。

祈願祭には、澤会長、小林町長、山西議長をはじめ、原農協委員長、大沼漁業協同組合、茨城県観光協会理事らが参列しました。

宮司が祝詞を奏上したあと、一人ひとりが玉串をささげ、湖沼での水難事故等が起きないように祈願しました。

7/6 (土) 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支えよう
“社会を明るくする運動”
街頭キャンペーン



“社会を明るくする運動”街頭キャンペーンをイオンタウン水戸南で実施しました。この運動は、犯罪や非行のない明るい地域社会を築こうとする全国的な運動で、今年で74回目を迎えます。

当日は、茨城県保護司会や茨城県更生保護女性会をはじめとした各種団体や、町内2校の中学生たちの総勢約75名が参加し、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の更生について理解を深めることを呼びかけました。

6/29 (土) がんばれ！水戸ホーリーホック
茨城町の日



ケーズデンキスタジアム水戸（水戸市）において、「茨城町の日」として、水戸ホーリーホックとレノファ山口の試合が行われました。

当日は、茨城町PRブースを出店し、常陸牛や選手のサイン入りグッズなどが当たる抽選会、メロンや干し芋などの特産品販売の他、町内で採れたジャガイモを無料配布しました。

試合前には小林町長が挨拶を行い、結果は1-1の引き分けとなりましたが、訪れた約3,300人の観客は、選手たちの熱いプレーに熱狂しました。

7/3 (水) JICA海外協力隊員の経験をもとに羽ばたく
倉本衣織さん 表敬訪問



JICA 海外協力隊の一員としてモザンビーク共和国に派遣された経験を持つ倉本衣織さん（小幡）が、モザンビーク共和国の企業に就職するにあたり、これまでの活動報告を兼ねて表敬訪問しました。

倉本さんは海外派遣の際に農業分野で活躍し、農作物のブランディングなど、現地の農家の所得向上に尽力されました。報告の中で、「アフリカの魅力はエネルギーがあるところ。みんなで助け合いながら生きる姿に活力を貰った。今後も食の分野から、農家の所得向上をサポートするために、一から挑戦していきたい。」と意気込みを語りました。

6/26 (水) 第32回ヤングリーグ選手権大会出場
水戸青藍舎ヤング 表敬訪問



(左から) 小林町長、水戸青藍舎ヤング大貫選手、江口選手、二重作選手、代田監督

茨城中央工業団地野球場で活動している硬式野球チーム水戸青藍舎ヤングの選手と監督が、全国大会出場と関東支部予選会準優勝の報告に小林宣夫町長を表敬訪問しました。

全国大会に向けて、青葉中学校2年生の二重作陸斗選手は「気持ちで投げる気迫のピッチングができるようにしたい。」と意気込みを語ってくれました。

7月27日(土)から開催された第32回ヤングリーグ選手権大会では、チーム一丸となって戦い、2回戦に進出するなど素晴らしいプレーを見せてくれました。

6/30 (日) 大切ないのちを守るために
風水害を想定した避難力強化
訓練を実施しました



台風や集中豪雨による風水害等に備えるため、避難力強化訓練を実施しました。今回の訓練では旧石崎小学校と旧広浦小学校の各体育館に避難所を開設し、町民の方々が、避難経路や避難所での町の備蓄品の確認をしたほか、ハザードマップの活用や災害情報の取得方法を学びました。また職員は、避難所開設や避難行動要支援者への情報伝達訓練を行い、災害時の対応方法を確認しました。

今後もさまざまな災害に対応できるように、訓練等を通じて、町民の皆様と一緒に対策を進めていきます。